

放射線科だより

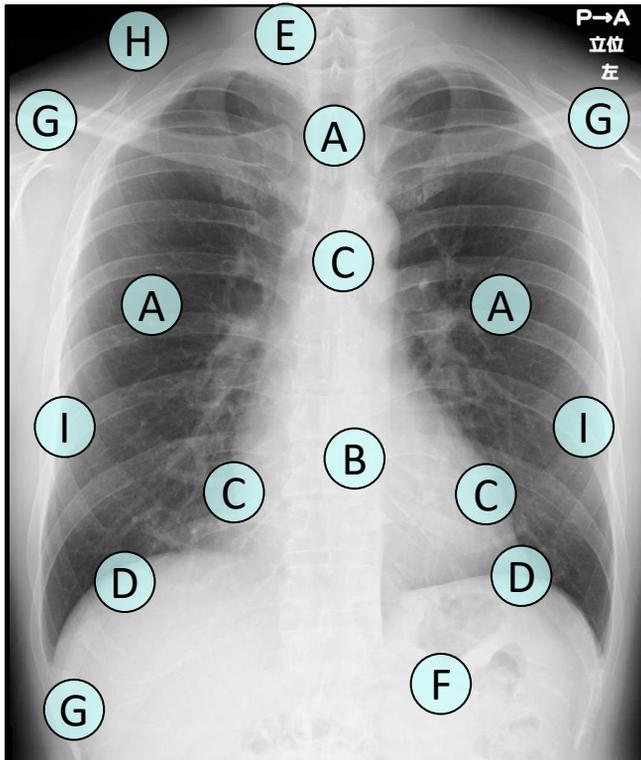


令和6年3月8日
診療放射線科 畑田 瞬

《胸部単純X線(レントゲン)撮影検査》

・ 胸部レントゲン写真って何をみている？

色々な病気の診断に役立てられる“胸部レントゲン写真”皆さんも風邪をひいたときや、健康診断などで受けたことのある検査だと思います。今回は胸部レントゲン写真のチェックポイント（最低限、確認しなければいけない基本的な部分）についてです。



- A：気管の状態、肺の状態（透過性）
- B：心臓の状態
- C：心臓陰影、縦隔の拡大
- D：横隔膜の状態
- E：挿管、栄養チューブなどの位置
- F：撮影範囲内の腹部の状態
- G：骨、脂肪、筋肉の状態
- H：皮膚表面の状態
- I：乳房の状態

※ **検査目的**や**病気/症状**などによりさらに観察点は増えていきます。

胸部レントゲン撮影検査は、検査時間も短く簡単な検査に感じますが、他のどのレントゲン検査より、**1枚の写真から得られる情報量は多い検査**です。また、基本は立っての撮影となりますが、右を向いたり、左を向いたり…時には仰向けに寝たり、横に寝たり…必要に応じて色々な体勢で撮影することもあります。



検査に関する疑問、質問などございましたら

お気軽に検査担当技師までお問い合わせください。